

「第3期朝来市教育振興基本計画（案）【あさご夢・学びプラン】」に関する  
パブリックコメントの結果

【意見等の募集期間】

令和元年12月19日（木）から令和2年1月14日まで

【意見等の受付件数】

4人（4件）

【提出方法の内訳】

電子メール2人、持参1人、電話1人

【提出された意見等の概要】

番号	項目	意見等の概要	市の考え方等 (修正がある場合は、その内容)
1	P.27(12) 授業のユニバーサルデザイン化の促進	◎＜主な取組・事業＞ ◇重点取組校・継続取組校による授業公開と研究協議を行います。とあるが、この取り組みは本年度で市内小中学校一巡したと聞いている。 次のステップにつながる取組が必要ではないか。	◎これまでは、授業の分かる・参加するユニバーサルデザイン化を進めてきました。ご指摘の通り、この取組が令和元年度をもって、市内小中学校で一巡しました。次期5年間では、次の段階である活用・理解する取組が求められています。 そこで、次のように追記載します。 これまでの取組成果と課題を検証し、深い学びにつながる指導方法の研究を行います。
2	P.36(25) インクルーシブ教育の推進	◎インクルーシブ教育システム、ユニバーサルデザイン化等による障害のある子どもへの配慮がなされていると思うが、それを受け入れる側の障害のない子どもたちの受けとめる心を育てていくべきと考えます。 市内の小中学校では、県立特別支援学校の児童生徒や特別支援学級の児童生徒との交流会などが計画的に実施されています。 交流会の中で、子ども同士の意思疎通がうまくいかず交流会で喧嘩に発展したケースもあるようです。 障害のある子どもたちへの理解が進む学習や交流が根付けば、真のインクル	◎共生社会の実現に向けて、次のような取組を考え追記載します。 (1)特別支援教育コーディネーターや通級指導教室担当者を中心として、特別支援学校や関係機関との連携を十分に図り、特別支援教育の充実と教職員の指導力向上に努めます。 (2)通常学級における「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」作成をより推進するなど、個別の教育的ニーズを把握し、きめ細かな教育的支援の実現に努めます。 (3)共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築につなげるため、特別支援教育を着実に進めます。

		<p>ーシブ社会が実現し、障害のある人たちが住みやすい朝来市になると思います。</p>	<p>(4)朝来市こども教育センターや県立和田山特別支援学校との連携と積極的な活用を図り、教職員の専門性の向上を図ります。</p> <p>(5)交流及び共同学習の推進に努めます。</p>
3	指標について	<p>◎各教育施策に対する「測定指標」が設けられているが、現状値に対しての目標値設定の基準がわからない。例えば、P.15 の確かな学力の指標で「読書は～」の場合、現状値が 小 72.8 → 82.0 (+9.2 ポイント) 中 74.1 → 84.0 (+9.9 ポイント) とあるが、この差は何でしょうか。なぜ、このような微妙な数値を目標に設定したのかを問われた場合、説明し辛くないでしょうか。</p> <p>目標値なのだから、例えば、現状値で 80.0 を下回っているのであれば、「いずれも 100.0 を目標とする。」でも良いのではないのでしょうか。</p>	<p>◎「測定指標」については参考資料として、以下のアンケートを用いています。</p> <p>①全国学力・学習状況調査 ②全国体力・運動能力・運動習慣等調査 ③朝来市民アンケート ④朝来市教育委員会 ⑤朝来市養護教諭研究会</p> <p>このデータを基に、関係機関と相談のうえ5年後の目標値を設定しています。</p>
4	県立高校との連携	<p>◎朝来市の教育施策ではあるが、市内に3校も県立学校が存在するため、その学校と地域あるいは各学校園との連携も、少しは文言に入れても良いのではないのでしょうか。</p> <p>例えば、和田山特別支援学校ならば、授業のユニバーサルデザイン化 (P.26)、防災教育 (P.32) やインクルーシブ教育 (P.36) など。生野高校・和田山高校ならば、地域を巻き込んだ学校連携 (P.28)、グローバル化 (P.29) など。ほかにも、英語やプログラミング教育などの連携も考えられます。</p> <p>義務教育を修了した子供たちが、次のステップとして向かう高等学校との関わりなどを柔軟に取り入れ、プランの基本理念である「ふるさと朝来の未来を担う人づくり」に関り、「地域が共に創り上</p>	<p>◎「各学校園」とは、こども園・幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校・大学及び高等専門学校をいいます。</p> <p>つについては、「学校園」の文言を追記載します。</p>

		げる～」の【地域】に「県立高校」も含めて考えていただくと良いのではないかと思います。	
5	P.5/ 2(1) ウ 研究発表会を通して成果や発表してきました	◎どの様な研究をなされ、成果を発表されてきたのか、さっぱりわかりません。この5年間の成果を、簡単でよいのでP.22「基本方針2」「基本方針3」等で一覧表にして少しご紹介いただくと理解しやすいです。	◎<検討>記載したいと考えます。 ○平成 26・27 年 文部科学省委託事業 「授業のユニバーサルデザイン化モデル研究事業」（発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業） ○研究内容 【研究校】 ・和田山中学校 ・糸井小学校 ・大蔵小学校 ○平成 26～29 年度 文部科学省委託事業 「英語教育強化地域拠点事業」 ○研究内容 【研究校】 ・生野高校 ・生野中学校 ・朝来中学校 ・生野、山口、中川小学校
6	P.7/(6)イ き め細やかな指導や一人でも多くの子に～	◎多くの「児童生徒」に～の方がふさわしいのではないかと考えました。	◎小中学校に学びのサポーターを配置しておりますので、「子」→「児童生徒」に置き換えます。
7	P.9/ 「培う力」（3つ目） ～真理を追求する態度を養い、豊かな情操と道徳心	◎他の4項目とリズムが異なるので違和感を感じます。 (例) 真理を追求する態度を養い、豊かな情操・道徳心を磨く力 …等、文章を再検討ください。	◎「心身ともに健康で、幅広い知識と教養を身に付け、真理を追求する態度を養い、豊かな情操と道徳心を磨く力」に修正します。
8	P.15/ ② 国際理解を深める教育の推進	◎国際理解を深める事は確かに大切なことだと思っています。 しかし、母国語である「正しい日本語」「正しい接続詞」「日本語で他者に正しく伝達することができる正しい文章・表現を修得する力」の養成が見えてきません。「授業等、日常の学校生活で磨いてい	◎正しい日本語で自分の気持ちを表現したり、主張することは大切であると考えます。 P5(1)①「確かな学力の育成」の中で、追記載したいと考えます。

		<p>く事なので特筆しない」というのであれば、どの場面でそうするのか、付記が欲しいです。</p>	
9	P.17/ (2) 測定指標の2つ目の項目「地域行事に参加した」～	<p>◎地域行事に参加できなくても、朝来市の学校名や所属チーム名の看板を背負いスポーツや各種大会に臨んでいる児童生徒もいます。充分、「ふるさと朝来」に誇りを持って臨んでいると思われま</p>	<p>◎この指標は「全国学力・学習状況調査」のアンケートにおいて、市内の子どもたち自身が「そうである」と答えた割合です。</p> <p>実際に子どもたちが感じた数値であると考えます。</p>
10	P.19/ ③ 健康教育・安全教育の推進について	<p>◎11/13 第3回懇話会「素案」P.18では掲載されていた&lt;主な取組・事業&gt;で「地域安全マップ等を各学校+PTA+地域住民とで作成」と掲載されていました。非常に良いと思っていたのですが、なぜ削除されたのでしょうか？代替事業が検討されているならば、ご紹介ください。</p>	<p>◎P31○基本方針5【施策1】(19)防災教育の推進</p> <p>の内容に重複することから削除しました。</p> <p>なお、詳細な作成手順については、毎年発刊する市の「指導の重点」に掲載したいと考えます。</p>
11	P.21/(前ページ)(6)の<主な取組・事業>の4つ目	<p>◎市内学校園に在籍する家族がいない世帯では「朝来市こども教育支援センター」がどこに存在しているかもわかりません。少し説明等を加えていただければ、より身近に感じられると思います。</p>	<p>◎用語解説 67 に追記載します。</p> <p>「朝来市こども教育支援センター」(目的)(業務内容)等</p>
12	P.21/(前ページ)(6)地域・家庭と連携した～	<p>◎「地域」の関わりが見えにくいです。「地域もいじめは許さない」「地域も不登校児童・生徒を温かく見守る」等の文語を入れていただき、理解を求めめるためにも、その啓発事業等を取組に入れられてはどうでしょうか。</p>	<p>◎次年度から市内全小中学校に学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入します。</p> <p>この制度の活動内容に、いじめ対策や不登校生への対応などが求められてきます。</p> <p>そこで、地域の関わりかたを熟議していただくことも必要と考えます。P22 基本方針2【施策1】の中で、文語を追記載したいと考えます。</p>

13	P.25/(一番上の)測定指標に「時間外業務時間」が示されています	◎残業時間ではなく、授業と給食を除いた時間で、先生が児童・生徒と向き合えた時間を指標化されてはどうでしょうか。(9)(前ページ)2項目で、「子どもと向き合う時間を確保できるよう～」につながると思います。	◎教職員が、児童生徒と向き合えた時間を客観的に把握することは難しい現状があります。 特に、中学校では教科担任制であること、また、小学校では専科教員が授業を担当していることもあります。 そこで、客観的な指標として、この指標を使っています。
14	P.25/(10)教職員としての～測定指標に「先生がよいところを認めてくれている～」が示されています。	◎「先生が(自分の)よいところを認めてくれる」の目標が半分しかない。「ふるさと朝来を愛し、大切に思える子ども」がこれで育つでしょうか。難しいかも知れませんが、低すぎると思われるこの数値を8～9割に目指してはいかがでしょう。	◎関係機関と相談のうえ、5年後の目標値を設定します。
15	P.27/(12)授業のユニバーサルデザイン化の促進	◎文語はよく聴きますが、具体的に授業がどうなされているのかイメージしにくい人もいらっしゃると思います。少しでも、場面例示されてはどうでしょうか。	◎写真をイメージ図に差し替えます。
16	P.30/(16)< 主な取組・事業 >1つ目	◎「日本遺産 銀の馬車道」のマップでは「道」が色分けされています。また。「銀の馬車道」以外にも明治維新の先駆けとなった「生野義挙」や茶すり山古墳・船宮古墳、また「原六郎」氏など、郷土の歴史については教科書内外で目を見張る、輝かし特筆すべき事柄が多くあげられます。列記されてはどうでしょうか ◇「銀の馬車道」「鉱石の道」を学びます ◇郷土学習・ふるさと学習の取組時間を増やします …等	◎ふるさと学習では、各校において総合の時間などを利用して行われています。小学校では、3・4年生 「わたしたちの朝来市」 (朝来市教育研修所 編) 中学校では、 「ふるさと兵庫 魅力発見！」(県教委)教科書を使用して学習しております。詳細な項目等などは、毎年、市教委が発刊する「指導の重点」で補いたいと考えます。
17	P.41/用語解説	◎これだけ拝見してもすごく理解しやすいので、何度も活用できるようにされてはどうでしょうか。 この用語が何ページに掲載されているか分かるように表示する。	◎採用して修正を図ります。

